

## 産業建設常任委員会所管事務調査報告（令和5年度）

### 1. 調査テーマ

「ふるさと納税について」

### 2. 経過

開催日	主な調査内容
令和5年6月21日	1年間の調査テーマの決定 担当部局への聞き取り調査 ・経済振興課から「ふるさと納税」の現状等について聞き取り調査を行った。
令和5年7月5日 ～7日	先進地への行政視察 ・山梨県山梨市及び笛吹市において「ふるさと納税の取組と課題について」視察研修を行った。 また、総務省において令和5年10月から見直しされたふるさと納税の指定基準等について研修を行った。
令和5年9月12日	行政視察の振り返りと今後の所管事務調査について協議 ・7月5日から7日に行った行政視察を振り返り、今後の方針について委員間で協議を行った。 担当部局への聞き取り調査 ・経済振興課から「ふるさと納税」の寄附の状況と課題等について聞き取り調査を行った。
令和5年11月8日	一般社団法人西予市観光物産協会との意見交換会 ・市民と議会との意見交換会として、一般社団法人西予市観光物産協会とふるさと納税について意見交換会を行った。
令和5年11月15日	先進地への行政視察 ・愛南町において「ふるさと納税の取組と課題について」視察研修を行った。
令和5年12月8日	調査研究の振り返り ・国や先進地自治体への研修で得た取組と課題等をもとに担当部局から聞き取り調査を行うとともに、これまでの調査内容の振り返りを行った。
令和6年3月7日 令和6年3月8日	調査研究のまとめ ・1年間の調査研究結果及び提言について報告書の作成を行った。

### 3. 意見交換会

開催日：令和5年11月8日（水）

相手先：一般社団法人西予市観光物産協会

下記の項目について、意見交換を行った。

(1)ふるさと納税について

#### 4. 所管事務調査及び意見交換会の結果

(1)ふるさと納税について

##### 調査結果

視察研修では、山梨県山梨市、笛吹市及び愛媛県愛南町の担当者から説明を受け、各自治体におけるふるさと納税の取組や課題について調査研究を行い、総務省担当者から令和5年10月から見直しされた指定基準について説明を受けた。

また、西予市の担当課から、現在の取組や課題、今後の展開等について説明を受け、意見交換を行った。

##### ・県全体の共通返礼品の選定

高知県では、県全体の共通返礼品として「カツオのたたき」を選定することで、県全体の底上げにつながっている。愛媛県でも県全体の共通返礼品を選定することで、寄附額増加につながると考え、県内自治体で協力して取り組めないかとのことであった。

##### ・ファンの拡大

愛南町では、関東南宇和高等学校同窓会を発展させ、TOKYOあいなん交流会を立ち上げられた。ふるさと愛南町に想いを寄せる関東圏在住の方とのネットワークを強化することで、ふるさと納税の寄附額増加に寄与しているとのことであった。

##### ・返礼品協力事業者拡大の取組

事業者訪問や事業者へのフィードバック、競合商品の情報収集などを行い、返礼品協力事業者数の拡大、返礼品数の増加に取り組んでいた。

##### ・クラウドファンディング型ふるさと納税の活用

寄附金の使い道としてより具体的な事業を示し、その事業に共感いただいた方から寄附をいただくクラウドファンディング型ふるさと納税を活用している自治体が増加している。

##### ・観光物産協会の機能強化拡大

西予市においては、ふるさと納税の業務を一般社団法人西予市観光物産協会に委託している。ふるさと納税の寄附額が増加することで、業務量も増加しており、返礼品協力事業者へのフォロー等ができていく状況となっているのではないかと、推察している。

## 5. 所管事務調査の結果を踏まえ、市に対しての提言

### (1) ふるさと納税について

#### ① ふるさと納税の魅力ある返礼品づくり及び仕組みづくり

- ・ 県全体の共通返礼品の選定

高知県のカツオのたたきのように、愛媛県共通返礼品を選定できるよう、関係各機関と協議を進めること。

- ・ クラウドファンディング型ふるさと納税の活用

全国では、寄附金の使い道としてより具体的な事業を示し、その事業に共感いただいた方から寄附をいただくクラウドファンディング型ふるさと納税を活用している自治体が増加している。示されている事業については、武道館建設やマラソン大会の支援、子ども食堂支援、学校の芝生化など様々であり。西予市においてもより具体的な事業を示し寄付を募るクラウドファンディング型ふるさと納税を活用できないか、検討すること。

- ・ 西予市ファンの拡大

ふるさと西予市に想いを寄せる関東圏、関西圏在住の方等とのネットワーク構築に取り組み、西予市ファンの拡充に努めること。

#### ② 返礼品協力事業者との協力体制構築

- ・ 返礼品協力事業者拡大へ取り組み、増加を進めること。
- ・ 返礼品協力事業者間の連携構築を進めること。
- ・ 返礼品協力事業者のニーズを把握し、ふるさと納税への理解を深めること。
- ・ 上位の事業者に対する表彰や感謝状贈呈など、顕彰制度を検討すること。

#### ③ 観光物産協会の機能強化

- ・ 西予市観光物産協会の体制強化

西予市では、令和6年度のふるさと納税の目標額を7億円としている。ふるさと納税の寄附額が増加することで、業務量の増大することが予想される。協力事業者の増加、協力体制を構築するために、業務体制強化が必須であり、十分な支援をすること。